

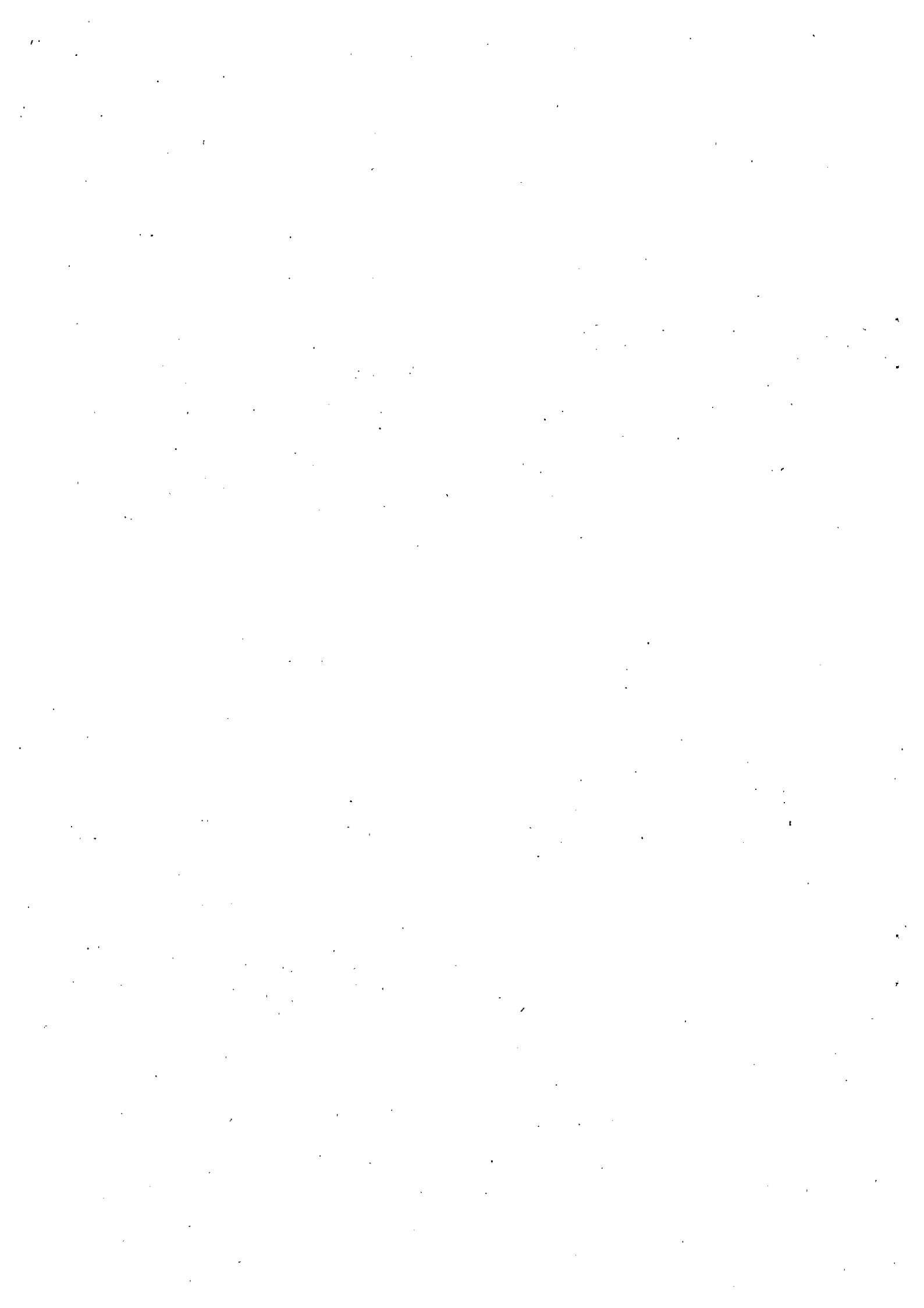
総務教育常任委員会資料

(平成31年3月6日)

〔件名〕

- ・「鳥取県職員の人材育成、能力開発に向けた基本方針」の改訂
について 【人事企画課】・・・1
- ・西部総合事務所新棟整備等に関する民間活力導入可能性調査結果
について 【資産活用推進課】・・・2
- ・「占領期の鳥取を学ぶ会」平成30年度活動報告会の開催について
【公文書館】・・・3
- ・首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の
閉館・開館等について 【東京本部】・・・4
- ・首都圏における情報発信等について 【東京本部】・・・5
- ・関西圏における情報発信等について 【関西本部】・・・9
- ・名古屋における情報発信等について 【名古屋代表部】・・・11

総 務 部



「鳥取県職員の人材育成、能力開発に向けた基本方針」の改訂について

平成31年3月6日
人事企画課

平成21年に「鳥取県職員の人材育成、能力開発に向けた基本方針」を策定し、職員の人材育成、能力開発の取組を進めてきたところです。

この度、この基本方針を以下のとおり改訂しましたので、報告します。

1 改訂の背景

- (1) 策定から10年近くが経過し、策定当時と比べ、共生社会の推進、県民や市町村との協働などの本県らしい施策を加速度を増しながら展開してきており、また、本格化する少子高齢化、働き方改革などの社会情勢・時代のためめまぐるしい変化や要請に対し、今まで以上に県民の声を聴き、スピード感、新たな発想力・創造力・チャレンジ精神をもって課題に取り組み、県民に信頼される職員を育成していくことが策定当時にも増して求められている。
- (2) これから定年を迎える職員の退職ピークが到来し、職員の年齢構成も若年層が大きな比重を占めることとなるなど、職員を取り巻く環境が変化する中、若手の職員の能力をより早期に開発・向上させていくとともに職員全体のさらなる能力向上を図る必要がある。

2 改訂の主な内容

- (1) 職位ごとに求められる役割と人物像の明示
「職位ごとに求められる役割と人物像」を新たに明示した。
- (2) 職員として身につける能力の内容の明示
 - ア 各職位（管理職～一般職員）で身につける主な能力とその内容を具体的に示した。
 - イ 一般職員（主事・技師級）は、3つの時期に区分し、それぞれの時期で身につける主な能力を示した。
 - ウ 「共生社会の推進」、「県民等とのパートナーシップ」、「AI、RPA、ドローン等の先端技術の活用」、「カイゼン意識」など時代の変化に対応して本県らしい施策を展開していくためこれから特に求められる能力を示した。
- (3) 職員の育成に係る具体的な取組の追加
 - ア 若年層の人材の強化
 - ・人事担当者による若年層の面談の充実
 - ・組織全体で若年層を育成する意識向上
 - イ 研修の強化
 - ・採用前のキャリア、能力、資質等に応じた研修の実施
 - ・組織全体に研修効果を波及させるためのきめ細かなフォローの実施
 - ・計画的な階層別研修として「採用5年目職員研修」「係長級昇任3年目研修」を追加
 - ・ICT（AI・RPA）の利活用など社会情勢の変化に伴う新たな課題、個別課題等への対応及び経験や職位を超えて今求められる知識能力の習得のために必要な研修の実施 など

3 改訂後の内容 別添のとおり（平成31年3月4日改訂）

4 今後の人材育成に向けた各職場での取組

各職場においては、基本方針に示した「職位ごとに身につける能力」を参考に、常に1つ上の職位を意識して新たな課題に挑戦させるなど、職員の育成を推進するよう通知した。

西部総合事務所新棟整備等に関する民間活力導入可能性調査結果について

平成31年3月6日
資産活用推進課

老朽化した西部総合事務所福祉保健局（米子市東福原）の西部総合事務所敷地内（同市鞆町）への移転に伴う新棟整備については、PPP/PFI手法の導入を検討しているところですが、この度、コンサルタントによる導入可能性調査の結果がまとまりましたので、報告します。

1 調査において想定した事業概要

	PPP手法 (定期借地権活用による民間ビル建設)	PFI手法 (庁舎のみを整備)
新設する 建物の面積	民間ビルのうち行政部分 約4,800㎡ エネルギー棟 約1,400㎡	行政部分 約5,000㎡ (うち機械室部分 約1,000㎡)
建物の 有する機能	民間ビルには事務室のみ入居 別途、エネルギー棟（機械室棟） を建設	事務室、機械室（西部総合事務所全 体をカバー）
民間施設の 有無	民間収益施設との複合化を想定	庁舎が主であり、民間収益施設は付 帯施設
事業内容	① (ア) 旧米子警察署の除却 (イ) エネルギー棟の建設 (ウ) 西部総合事務所の維持管理 を業務範囲とするPFI 事業 ② 行政庁舎機能が入居可能な民間 ビルの建設（底地は定期借地権 を設定）	(ア) 旧米子警察署の除却 (イ) エネルギー棟の建設 (ウ) 西部総合事務所の維持管理

※米子市庁舎再編のタイミングが合致していることから、より一層、県・米子市の連携を図ることを念頭に、本整備事業に合わせて県庁舎と米子市庁舎の間で一部部局が相互に移転入居するよう検討中。

2 調査結果概要

- PFI手法が最も望ましい手法であると考えられる。
- ・コスト削減率（VFM）試算結果はPFI手法が有利となった。

手法	VFM	県直営	PFI/PPP
PFI手法（BTO）＜エネルギー棟合築＞ ※事業期間 15年間	+ 5.5%程度 (a-b/a)	27.3億円 a	25.8億円 b
PPP手法（定期借地権設定による民間 ビル入居）＜エネルギー棟別棟＞ ※事業期間 30年間	▲38.5%程度 (a' - b' / a')	30.6億円 a'	42.3億円 b'

* BTO : Build Transfer Operate の略。民間が施設整備後に、自治体へ所有権を移転し、維持管理を行う方式。

- ・事業者の意向調査結果は、PFI手法を希望する事業者が多かった。
複数の県内外の事業者が本事業への参画を希望し、事業が成立する可能性は高く、PFI手法、PPP手法とも実施可能であるが、PFI手法を希望する事業者が多い。

【アンケート項目：「対応可能な事業手法」】

15社中 PFI手法7社（1社）、PPP手法1社、どちらでもよい5社（1社）、

その他（参加困難、検討中）2社

*カッコ書きは県内事業者で内数

3 今後の対応等

調査結果報告書の内容をもとに「県有施設・資産有効活用戦略会議」でPFI手法の導入について検討し、導入が適当と判断された場合は、アドバイザー業務の委託経費を来年度、補正予算で要求する予定。

*アドバイザー業務：募集要項等の書類作成や法務・会計等の制度設計に係る支援・助言業務

＜参考＞ 検討経緯

- 平成28年 3月 鳥取県PPP/PFI手法活用の優先的検討方針策定（事業費10億円以上の公共施設整備事業はPPP/PFI手法の活用を検討）
- 平成30年 1月 県有施設・資産有効活用戦略会議で第一次検討（庁内での定量評価及び定性評価）を行い、導入可能性調査の実施を決定
- 7月 コンサルタントに委託し、導入可能性調査を開始
- 平成31年 1月 県有施設・資産有効活用戦略会議で中間報告結果を報告
- 2月末 報告書取りまとめ

※今後、関係機関等との調整が整えば、最速で2023年頃に新棟完成の予定

「占領期の鳥取を学ぶ会」平成30年度活動報告会の実施について

平成31年3月6日

公文書館

昨年度から県民との協働事業として実施している「占領期の鳥取を学ぶ会」(GHQ鳥取軍政部活動報告書(英文)の解読作業)の、今年度の活動報告会を開催します。当日は、占領期研究の専門家でも参加されている長志珠絵神戸大学大学院教授による講演と参加者の報告により、一年間の活動を通じて明らかとなった鳥取県の占領期の実態を振り返ります。

記

- 1 日時 平成31年3月9日(土)午後1時30分~4時
- 2 会場 鳥取市歴史博物館 地下1階フリースペース(鳥取市上町88番地 0857-23-2140)
- 3 内容 (1) あいさつ・趣旨説明
(2) 基調講演「占領期の地域史資料とGHQ文書」
講師：神戸大学大学院国際文化学研究科教授 ^{おさ しずえ}長志珠絵氏
(3) 報告「鳥取軍政部活動レポートの解読から見えてきたもの」
 - ・平成30年度の活動と解読のあらまし(県史編さん室課長補佐 西村芳将)
 - ・鳥取軍政部が行った学校視察(新鳥取県史編さん委員現代部会長 ^{こやま ぶみ}小山富見勇氏)
 - ・鳥取軍政部教育情報担当将校アリマ中尉について(通訳・翻訳家 ^{さわの ひとみ}澤田晶子氏)
 - ・昭和22年天皇の鳥取行幸(鳥取市歴史博物館学芸員 ^{よこやまの びろ}横山展宏氏) ほか
- 4 定員 70名(予約不要・先着順)
- 5 主催 公文書館県史編さん室、鳥取市歴史博物館
- 6 後援 鳥取県社会福祉協議会・とっとりいきいきシニアバンク「生涯現役」
- 7 平成30年度の活動概要
 - (1) 解読した分量 昭和22年5月から昭和23年2月まで10ヵ月分(A4約75ページ分)
 - (2) 回数・参加者数 全10回、延131名(地元の方、元高校教員、大学研究者、現役高校生等)
 - (3) 主な解読内容(関連資料調査の成果も含む)
 - ・主なトピックは、22年4月の県知事・市町村長・県会議員選挙の監視、闇市や列車内の闇取引の取締り、新制中学の発足と教科書の配布状況、密行取り締まりの強化、供出米の絶対確保運動、鳥取刑務所の超過収容状況、天皇行幸への対応など。
 - ・公民教育の一環として軍政部の提案により22年9月8日から11日かけて鳥取市内で「少年少女週間(中学生市長議員の模擬選挙)」が行われた。すべての旧制中学に選挙管理委員会が設けられ、男女7名の「市長」候補者による街頭演説が実施され、「市会議員」36名(立候補者は64名)も選出された。全国初の試みとして、軍政部はこの活動を高く評価した。
 - ・22年11月27日の天皇行幸の奉迎場(公設グラウンド、現：県立博物館敷地)の清掃活動に、鳥取市内の小学生数百名が動員されたところ、GHQ軍政部は、教育目的以外の児童の労働力の不当な利用だとして、これを中止した。
 - ・長教授による米国メリーランド大学プランゲ文庫調査により、鳥取県衛生部作成のポスター「県下一斉に鼠をとろう」(昭和23年頃)の画像を入手した。

(参考)平成31年度の開催予定

- (1) 日時 毎月第3土曜日 午後2時から4時半まで ※第1回は4月20日(土)
- (2) 会場 鳥取市歴史博物館やまびこ館地下1階研修室(鳥取市上町88番地)
- (3) 内容 鳥取軍政部活動報告の英文解読と解説
- (4) 人数 毎回15名程度(随時参加可能)

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の閉館・開館等について

平成31年3月6日

東京本部

販路拡大・輸出促進課

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」のリニューアルについては、鳥取県、岡山県及び次期運営事業者である(株)フジランド、(株)稲田屋本店の4者が共同で準備を進めているところですが、下記のとおり、閉館、開館等のスケジュールについて報告します。

記

1 アンテナショップ運営に係る日程等

(1) 閉館日 平成31年3月28日(木) ※最終営業日

(2) 開館日 平成31年4月26日(金)

2 今後のスケジュール案

3月 上旬 首都圏アンテナショップ閉館及び開館予定の告知開始

28日(木) 閉館

4月 1日(月)～25日(木) リニューアルに向けた改修工事、運営事業者の開館準備

26日(金) 開館

平成31年3月6日
東京本部

首都圏における観光誘客、販路開拓及び移住定住等に係る情報発信等の取組について、以下のとおり報告します。

1 観光・誘客に係る情報発信の取組について

(1) 外国人向けメディアの県内取材

外国人向けの英字ニュースサイトを運営する「ジープラスメディア」社の東京在住外国人ライター等3名が県内観光の見どころを記事にするための取材に来県された。取材の結果、2本の記事が同社の運営するサイトに掲載された。

ア 取材日：平成30年11月1日(木)～3日(土)

イ 取材先：鳥取砂丘、三徳山投入堂、石谷家住宅、円形劇場くらしフィギュアミュージアム、大山など

ウ 掲載内容：

【ガイジンプット(日本在住の外国人や訪日予定の外国人向けの日本最大級の英語情報サイト)】

・7 Experiences You Can Only Get in Tottori, Japan
(鳥取でしかできない7つの体験)

【サヴィートーキョー(東京在住の外国人女性を対象にしたライフスタイル情報サイト)】

・20 Photos That Will Make You Fall In Love With Tottori. (Like I Did)
(鳥取と恋に落ちる20の写真)

エ 反響等

・ガイジンプットが後日発表した「2019年に外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」で鳥取県が第1位を獲得し、国内外の報道で取り上げられるなど大きな注目を集めることができた。



Explore
**7 Experiences You
Can Only Get in
Tottori, Japan**
Dune't stop me now!

(2) とっとりふるさと大使企画の鳥取県魅力発信催事

上田まりえさんととっとりふるさと大使による鳥取県PRイベントとして、鳥取県ゆかりの若手芸人による鳥取プレゼン対決等を内容とする「とっとり芸人冬の陣～目指せ！ふるさと大使～」を松竹芸能株式会社との共催で実施した。

ア 日時：平成31年2月8日(金)

午後6時から午後7時30分まで

イ 場所：とっとり・おかやま新橋館

2階催事スペース

ウ 参加者：首都圏在住の20代～60代の男女

約60名(有料入場)

エ 出演者：上田まりえ氏(とっとりふるさと大使・境港市出身)

安田大サーカス 団長安田(とっとりふるさと大使・鳥取城北高校出身)

みよーちゃん(とっとりふるさと大使・境港市出身)

オキシジェン(コンビのうち田中氏が北栄町出身)

山田チャーはん(米子市出身)

フルーツおじさんとっしー(米子市出身)

岩ちゃん(鳥取市出身)

ラストライド(コンビのうち赤木氏が米子市出身)



オ 内容：鳥取県ゆかり芸人による鳥取PRプレゼン対決
県産品が当たる抽選会 など

カ 実績・反響等

- ・共催者である松竹芸能が運営しているホームページやTwitter等を通じて、首都圏在住の方々に今回のイベントを周知することができた。
- ・所属会社の枠を超えて、鳥取県ゆかりの芸人が多く集まり、面白く鳥取のことを知っていただく良い機会となった。
- ・プレゼン対決の優勝者であるオキシジェンに対して、「とっとりふるさと大豆」の称号を贈るとともに、県産の神倉大豆の納豆を贈ることで、県産品のPRにつながった。

(3) 鳥取県×旅行読売 日野郡ピーアールイベント

旅行雑誌「旅行読売」との共催で、日野郡3町（日南町、日野町、江府町）の魅力を発信するイベントを実施した。

【昼の部】白谷工房 中村建治氏（日南町）指導による寄木づくり体験

ア 日時：平成31年2月21日（木）①午前11時～ ②午後2時～

イ 場所：とっとり・おかやま新橋館2階催事スペース

ウ 参加者：首都圏在住の男女 ①19名 ②12名

エ 内容：寄木づくり体験、日野郡3町（日南町、日野町、江府町）のパンフレット配布

オ 実績・反響等：

- ・「古民家の廃材から素敵な寄木作品が作られると知り驚いた」「箸置きやブローチなど1時間という短時間で楽しみながら制作することが出来た」などの感想が寄せられた。

【夜の部】一夜限りのスペシャル「ひのライブ」

ア 日時：平成31年2月21日（木）

午後6時30分～午後8時

イ 場所：とっとり・おかやま新橋館2階（ももてなし家、催事スペース）

ウ 参加者：首都圏在住の男女 約50名

エ 出演者：司会 金田実子氏（米子市出身）

演奏 太枝一正DUO（日野町在住）

日野郡3町の観光担当者

白谷工房 中村建治氏（日南町在住）

オ 内容：ジャズライブ、日野3町の特産品を使用したオリジナル料理の提供、日野3町による観光ピーアール、クイズ大会

カ 実績・反響等：

- ・「日野郡3町の特産品を使用した料理が美味しかった」、「日野郡は自然が多くとても魅力的な場所だと知り、是非、暖かくなったら行ってみたい」との声があった。
- ・観光経済新聞、旬刊旅行新聞、日本海新聞にイベントの様子が掲載された。



(4) アンテナショップでのJ-WAVE「STEP ONE」公開収録の実施

ラジオ放送局J-WAVEの人気番組「STEP ONE」の公開収録イベントとして、「MAGICAL MYSTERY TOUR in TOTTORI」（マジカル ミステリー ツアー イン トットリ）と題したトークショーを実施し、鳥取県の魅力を首都圏に向け発信した。

※「STEP ONE」は、2017年3月から開始し、毎週月曜から木曜日の9時から13時の間に放送されている。同番組はニュースや音楽、グルメなど旬な情報を発信する人気番組。

ア 日時：平成31年2月28日（木）午後7時～8時

イ 場所：とっとり・おかやま新橋館2階催事スペース

ウ 参加者：首都圏在住の男女50名（25組）

エ 出演者



番組司会者：サッシャ氏、寺岡歩美氏

ゲスト：月刊「旅の手帖」編集長 五十嵐匡一氏

シンガー 杏沙子(あさこ) (鳥取県出身)

オ 内容：鳥取県の観光、食、民芸等に関する紹介

カ 実績・反響等

- ・司会のサッシャ氏には以前からとっとり・おかやま新橋館をご利用いただいていたこともあり、ゲストと一緒に当館の産品をたくさんご紹介いただき、イベント終了後には多くの方が1階の物販コーナーで買い物をされた。
- ・なお、今回のトークショーの内容は、3月4日(月)から6日(木)までの毎日、同番組中において約10分間ずつ放送される予定。

2 県産品の販路拡大に係る情報発信の取組について

(1) トゥーランドット臥龍居(がりゅうきょ)での「鳥取食材を楽しむ会」の開催

中国料理にフランス料理の要素を取り入れた「ヌーベルシノワ」の先駆者として有名な脇屋友詞(わきやゆうじ)シェフが手掛ける「トゥーランドット臥龍居」で、鳥取和牛、境産ベニズワイガニ、東郷湖の鬼しじみ、大山ブロッコリー等の県産食材の数々で、鳥取づくしのコースを提供するフェアを開催した。

ア 日 時：平成31年2月8日(金) 午後6時～12時

イ 場 所：トゥーランドット臥龍居(港区赤坂)

ウ 内 容：鳥取づくしのコース「鳥取食材を楽しむ会の開催」

エ 実績・反響等

- ・シェフに本県の食材の良さを認めてもらい、県産食材をふんだんに使った「東郷湖の鬼しじみの旨みたっぷりのチャイナリゾット」、「ベニズワイガニと大山ブロッコリーの一品」、「鳥取和牛と香り野菜の春餅包み」等、魅力的な料理を提供いただいた。
- ・お客様からも好評で、新たに横浜の店舗での鳥取食材を楽しむディナーの開催につながった。

(2) 百貨店、高質型スーパーマーケット等での県産品PR

百貨店、高質型スーパーマーケット等において県産品をPRする物産フェア等を行った。

ア スーパーマーケット三徳での山陰・山陽味めぐり

期 間：平成31年1月19日(土)～22日(火)

場 所：三徳新宿本店(東京都新宿区新宿)他34店舗

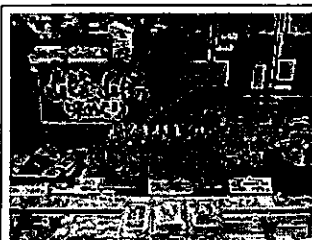
来店者：約140,000人

イ スーパーマーケットよしやでの鳥取フェア

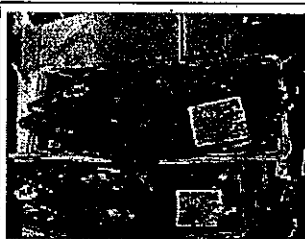
期 間：平成31年2月1日(土)～28日(木)

場 所：よしや中板橋店(東京都板橋区中板橋)他11店舗

来店者：約340,000人



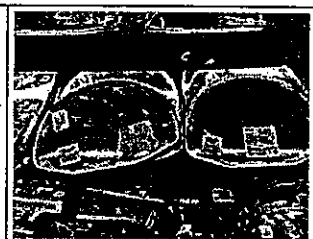
スーパーマーケット
三徳のフェアコーナー



スーパーマーケット
三徳の松葉がに



スーパーマーケット
よしやのフェア看板



スーパーマーケット
よしやの鳥取和牛

3 ハローワーク・移住定住に係る情報発信の主な取組について

移住フェアへの出展

首都圏在住で移住を考えておられる方に鳥取県への移住についてPRするとともに、鳥取県は移住希望者の就職をワンストップで応援する県立東京ハローワークを開設していることを周知して登録者を増加させるため、移住フェアに出展した。

ア 日時・場所等

・「地域の魅力発信！移住交流フェア」

日時：平成31年2月3日（日） 午前11時～午後5時

場所：東京国際フォーラム（千代田区丸の内）

主催：総務省

・「地方創生プロジェクト 移住・交流フェア」

日時：平成31年2月23日（土）

午前11時～午後4時

場所：ベルサール渋谷ガーデン（新宿区高田馬場）

主催：グリットグループホールディング株式会社

イ 実績等

・「地域の魅力発信！移住交流フェア」（13名受付）、

「地方創生プロジェクト 移住・交流フェア」

（43名受付）と、多くの移住希望者との面談の機会を得た。

・面談者に対してフォローアップし、

継続して連絡をとることにより、鳥取県内への移住・就業につなげていく。



4 メディアを対象とした情報発信の取組について

(1) 「鳥取県ゆかりメディアの集い」の開催

鳥取県勤務歴又は鳥取県出身、鳥取取材経験がある等、鳥取にゆかりのある関東在住のメディアの方々に集まっていただき、鳥取県の観光・物産等の施策についてPRした。

ア 日時：平成31年1月31日（木）

午後7時～9時

イ 場所：都市センターホテル（千代田区平河町）

ウ 実績等

・63名の関東在住の鳥取県ゆかりのメディアの方々に参加いただき、鳥取県の観光・物産施策について説明することができた。

・複数の方々から、鳥取県の情報発信につながるご提案をいただいた。

・今後もこの人脈を広げていき、県のPR等についてアドバイスをいただくこととする。



5. 今後の情報発信の取組について

今後とも鳥取県の旬の特産品、特色のある観光素材、魅力的な移住定住や企業誘致等の情報発信について、積極的に展開していく。

【販路拡大関係】

イベント名	時期	場所	内容
中国料理トゥーランドット游仙境での鳥取食材を楽しむ期間限定ディナー	平成31年3月4日～4月17日	中国料理トゥーランドット游仙境（ゆうせんきょう）（県横浜市西区）	県産食材を使った料理の提供
スーパーマーケット三浦屋での鳥取フェア	平成31年3月14日、15日	スーパーマーケット三浦屋各店舗	県産品の販売

関西圏における情報発信等について

平成31年3月6日
関西本部

関西本部では、各種イベントの開催や各種媒体を活用し、ウェルカニキャンペーンなどの観光情報の発信やズワイガニ、原木椎茸、ジビエなどの県産品のPRを行い、鳥取県の認知度向上と関西から鳥取県への誘客や販路開拓・消費拡大につなげる取組を行っています。

1 観光PRイベントの開催

集客力のある大阪の観光地、駅、商業施設等で県観光パンフレットの配布等を行い、多くの来場者に鳥取県観光情報の発信ができたほか、マスコミ取材を受け新聞・動画ニュースでも発信されるなど、広く鳥取県を発信する機会となった。

(1) 通天閣「ピリケンさん」に初詣！イベントの開催

- ①実施日：平成31年1月8日（火）
- ②場 所：通天閣（大阪市浪速区）
- ③主 催：関西本部
- ④概 要：通天閣のピリケンさんに、亥年にちなんだジビエ（猪肉）を奉納し、併せて鳥取県観光PRを行った。

(2) 冬の鳥取県観光フェアの開催

- ①実施日：平成31年1月15日（火）
- ②場 所：JR北新地駅（大阪市北区）
- ③主 催：JR北新地駅、関西本部
- ④概 要：JR北新地駅と連携し、鳥取県への旅行商品PRとウェルカニキャンペーン等鳥取県の観光PRを行った。

(3) 鳥取市観光イベントへの参加

- ①実施日：平成31年2月11日（月・祝）
- ②場 所：イオンモール神戸北（神戸市北区）
- ③主 催：鳥取市（協力：鳥取県観光連盟、関西本部）
- ④概 要：鳥取市と連携し、ウェルカニキャンペーン等鳥取県観光PRを行った。

(4) 中国四国9県観光展の開催（実施予定）

- ①実施日：平成31年3月8日（金）
- ②場 所：ディアモール大阪（大阪市北区）
- ③主 催：在阪中四国県事務所協議会
- ④概 要：在阪の中国四国9県が合同で春・GWに向けての観光PRを行う。鳥取県は鳥取県観光情報や鉄道、鳥取西道路開通関連情報・無料高速道路（鳥取自動車道、山陰自動車道）情報などの発信を行う。

(5) 鳥取県観光物産展の開催（実施予定）

- ①実施日：平成31年3月23日（土）、24日（日）
- ②場 所：新名神高速道路宝塚北サービスエリア（宝塚市）
- ③主 催：関西本部
- ④概 要：新名神高速道路にある宝塚北サービスエリアで、車利用者に対し、春・GWに向けての鳥取県観光情報や鳥取西道路開通関連情報・無料高速道路（鳥取自動車道、山陰自動車道）情報などの発信と特産品販売を行う。

2 媒体を活用した情報発信の状況（12月以降）

媒体名	時期	PR内容
遊・悠・WEST（関西版冬号）	12月14日（金）	蟹取県ウェルカニキャンペーン
毎日放送「ちちんぷいぷい」とびだせ！絵本	1月24日（木）	鳥取砂丘、白兔海岸、東郷・はわい温泉、松葉がに料理・日本酒、倉吉白壁土蔵群ほか
朝日放送「おはよう朝日です」クローズアップ	2月7日（木）	ジオコムス（千貫松島、城原海岸ほか）、岩井温泉（松葉がに・モサエビ）ほか
春びあ（関西版）	2月14日（木）	鳥取のアクティビティ（8頁冊子綴じ込み）
Pretty 2019.3月号	2月25日（月）	星取県・砂の美術館
るるぶドライブ中国四国ベストコース'20（予定）	3月14日（木）	鳥取県周遊（浦富海岸、鳥取砂丘、倉吉ほか）、星取県
SAVVY5月号（予定）	3月23日（土）	鳥取砂丘、鹿野、三朝温泉、倉吉ほか
エルマガムック「京阪神から行く景色のいいドライブ」（予定）	3月26日（火）	鳥取県周遊（鳥取砂丘、浦富海岸、白兔神社、倉吉、大山ほか）

3 県産品の主なPRの状況

(1) 平成30年度展示商談会の開催

- ①実施日：平成31年2月19日（火）
- ②場 所：「ハグミュージアム」キッチンスタジオ（大阪市西区）
- ③主 催：関西本部、鳥取銀行、山陰合同銀行、鳥取県商工会連合会、鳥取商工会議所、米子商工会議所、倉吉商工会議所、境港商工会議所、鳥取県産業振興機構、鳥取県信用保証協会
- ④出展者：県内事業者29社（うち初参加：17社、米生産者、畜肉加工事業者、水産加工事業者など）
- ⑤来場者：関西バイヤー60社、101名（食品問屋、通販、百貨店・スーパー、飲食店など）
- ⑥概 要：県内事業者からは「商品に興味を持ってもらえた。」「早速、注文が入りそうだ。」といった意見が、関西バイヤーからは「他にない商品を発見することができた。」「原材料を一次加工したことによって使いやすい商品となっている。」といった意見があった。

(2) 日本生命本店「食のみやこ鳥取県フェア」の開催（実施予定）

- ①実施日：平成31年3月8日（金）
- ②場 所：日本生命本店 東館2階 社員食堂前（大阪市北区）
- ③概 要：大山乳業農業協同組合の各種スイーツ、因幡の白うさぎ・大風呂敷などの土産菓子、らっきょう漬・はちみつなどの加工品の販売、社員食堂での紅ズワイガニを使ったメニューの提供、観光ポスター・パンフレットの設置等による鳥取県PRを行う。

(3) 県産食材のブランド化の取組

実施日	場所	内容
2月7日（木）	柳田（やなぎだ） （大阪市北区）	県産食材ブランド化勉強会の開催 ・冬期の県産食材（ズワイガニ、原木椎茸、ジビエ[イノシシ]など）の提案を行った。
2月14日（木）	メゾン・ド・タカ芦屋 （芦屋市）	県産食材ブランド化勉強会の開催 ・県内原木椎茸の生産者を招いて、産地別の原木、菌床椎茸との比較やブランド化に向けた意見交換等を行った。
2月18日（月）	県産食材生産現場	・関西料理人による生産現場視察、ブランド化に向けた意見交換を行った。
2月25日（月）	日本料理 翠 （大阪市中央区）	県産食材ブランド化勉強会の開催 ・冬期の県産食材（クロモ、原木椎茸、ジビエ[イノシシ]など）の提案を行った。
3月11日（月） ～12日（火） （予定）	県産食材生産現場	・旬の県産農林水産物の生産現場視察を行う。

名古屋における情報発信等について

平成31年3月6日

名古屋代表部

1 鳥取県の観光情報の発信

(1) 高速道路サービスエリアでの県ブース出展【実施済】

東海地方のサービスエリアで最も立寄客の多い刈谷ハイウェイオアシスにブース出展し、新名神高速道路 新四日市JCT～亀山西IC間の3月17日（日）開通により、ますます近くなる鳥取県をPRしました。

- ① 日 時：3月2日（土）、3日（日）
- ② 場 所：刈谷ハイウェイオアシス（伊勢湾岸自動車道）
- ③ 参加主体：名古屋代表部、（公社）鳥取県観光連盟
- ④ 内 容：観光パンフレットの配布や鳥取県に関するゲームなど
- ⑤ 立寄者：約6万人/日（土・日のサービスエリア利用者数）
- ⑥ 効果等：新名神高速道路や鳥取西道路の開通情報の提供により、東海地方からより近くなる鳥取県へのアクセス情報や鳥取県の最新観光情報をPRすることができました。



(2) 名古屋キャンピングカーフェア【実施予定】

東海地区最大級のキャンピングカーフェアに出展し、高速道路の開通でより便利になる旅行先としての鳥取県をPR（キャンプ場や見所など）する予定です。

- ① 日 程：3月9日（土）、10日（日）
- ② 場 所：ポートメッセなごや1号館（名古屋市港区金城ふ頭）
- ③ 主 催：名古屋代表部、（公社）鳥取県観光連盟など
- ④ 内 容：観光大使によるPRステージ、観光資料の配付やゲームなど

(3) 旅まつり名古屋2019【実施予定】

全国の観光や旅行関係者が集まる旅まつりで、県内観光関係者とともに参加し、ステージでのPRや観光パンフレットの配布などにより、鳥取県の観光PRを行う予定です。

- ① 日 時：3月16日（土）、17日（日）
- ② 場 所：久屋大通公園（名古屋市中区栄）
- ③ 参加団体：名古屋代表部、（公社）鳥取県観光連盟、
- ④ 内 容：観光大使によるPRステージ、観光資料の配付やゲームなど

2 経済界との交流、情報発信

(1) とっとりビジネスフォーラム in 名古屋【実施済】

東海地方の企業等に対して、鳥取県への工場進出や受発注の拡大、観光誘客を促進するため、鳥取県の取り組みや見所など旬な情報を発信するフォーラムを知事出席の下開催しました。(今回で6回目)

①日 時：1月17日(木) 11時～13時

②場 所：キャッスルプラザ(名古屋市中村区)

③出席者：東海地方企業等 89名(誘致企業、取引企業、旅行会社等)、県内 9名

④内 容：基調講演 ガイナーレ鳥取 代表取締役GM 岡野雅行 氏
「環境の変化、逆境は成長のチャンス」

交 流 会 参加企業等との交流

⑤効果等：製造業を中心に活況な状況にある東海地区の企業との交流を深めることにより、今後の企業進出、県内企業との取引拡大につなげるための人脈形成に役立った。



(2) デンソーグループ向け中国5県新技術・新工法展示商談会【実施済】

中国経済産業局等が主催する展示商談会に出展参加し、デンソー及びグループ企業の社員に対して鳥取県の立地環境や観光PRを行いました。

①日 時：平成31年1月31日(木)、2月1日(金)

②場 所：デンソー本社5号館イベントホール(愛知県刈谷市)

③参加団体：(公財)鳥取県産業振興機構、名古屋代表部、県内企業9社

④来場者：デンソー及びグループ企業の社員 645名

⑤効果等：自動車部品製造大手のデンソーグループ社員に出展県内企業の技術紹介を行うとともに、鳥取県の立地環境や交通アクセス等PRすることができた。今後の企業進出や受発注の拡大等につなげるための情報収集、人脈形成を行うことができた。